

Press Release
報道関係者各位

2025年 9月14日
京都大学交響楽団

京都大学交響楽団 第218回定期演奏会

—110年目の新たな響き、情熱が未来を奏でる—

110周年を迎える学生オケが篠崎史紀氏との初共演、客演指揮には田中祐子氏

京都大学交響楽団（京大オケ、1916年創立）は2026年1月15日（木）、17日（土）に大阪と京都にて、創立110周年の幕開けを飾る第218回定期演奏会を開催します。F. メンデルスゾーン作曲の「ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 Op.64」では、ヴァイオリニストの篠崎史紀氏（元NHK交響楽団特別コンサートマスター）と初共演を果たします。また客演指揮には田中祐子氏を第204回定期演奏会以来7年ぶりにお迎えします。

”まろ”こと篠崎史紀氏と京大オケとの初共演

今回、京大オケは7年ぶりに客演ソリストをお迎えします。篠崎氏は今年3月までN響で特別コンサートマスターを務められ、「まろ」の愛称で国内外問わず広く知られるヴァイオリニストです。ヴァイオリニストとしての技術だけでなく、日本を代表するオーケストラで長年コンサートマスターを務められた経験からも、学生たちに多くの学びを与えてくださっています。篠崎氏の熟練の技術と豊かな音楽性が学生オケの瑞々しくエネルギッシュな演奏とどのような化学反応を起こすのか、ご注目ください。

また2度目の共演となる田中祐子氏は、国内外でオーケストラだけでなくオペラの指揮者としても活躍されています。田中氏の幅広い音楽性が京大オケの演奏とどのような音楽を織りなすのか、ご期待ください。



（画像1 篠崎史紀氏）

©井村重人



（画像2 田中祐子氏）

©sajihideyasu

客演のご紹介

【田中祐子】

東京藝術大学大学院指揮科修士課程首席修了。パリ・エコールノルマル音楽院オーケストラ指揮科高等ディプロム課程修了。東京国際コンクール「指揮」入選、ブザンソン国際指揮者コンクールセミファイナリスト。N響、読響を始め全国各地のオーケストラとの共演、23年9月の藤原歌劇団「二人のフォスカリ」（於：新国立劇場）や24年2月新作初演「ニンゲル」（25年9月再演）といった数々のオペラ公演など活躍が続いている。18年4月-20年8月オーケストラ・アンサンブル金沢指揮者。18年度五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。20/21年度ロームミュージックファンデーション奨学生。

【篠崎史紀】

北九州市出身。愛称は“まろ”。

3歳より両親の手ほどきを受け、1981年ウィーン市立音楽院に入学。翌年コンツェルト・ハウスでコンサート・デビューを飾る。その後ヨーロッパの主要なコンクールで数々の受賞を果たしヨーロッパを中心にソロ、室内楽と幅広く活動。1988年帰国後、群響、読響のコンサートマスターを経て、1997～2025年3月までN響のコンサートマスターを務め、“N響の顔”として国内外で活躍。退団後も積極的な演奏活動のほか、コンサートの企画、指揮活動、後進の育成など多岐に亘る活動を展開。

九州交響楽団ミュージック・アドバイザー、リーデンローズ音楽大使、一般社団法人Music Force 理事長。

京大オケ110周年、過去から未来へ

京都大学交響楽団は、本公演で創立から110周年の幕開けを迎えます。常任指揮者を置かず、団員たちは学生指揮者を中心として主体的に音楽づくりに取り組んできました。音楽を愛するという一点を共通項としつつ各団員の個性を尊重し合うことが、京大オケの一番の伝統と言えるでしょう。また定期演奏会ごとに異なる客演をお呼びし、多くの著名な先生方から技術のみならず音楽に対する姿勢においても深く影響を受けてきました。京大オケらしさを受け継ぎ、そして未来へと繋げていく、情熱溢れる演奏をお届けします。

曲目紹介

①F. リスト 交響詩「レ・プレリュード」S.97

愛、苦悩、田園の静けさ、運命への挑戦 ――人生の諸相をひとつの流れに凝縮したリストの代表作です。華やかかつ重厚な幕開けで演奏会の冒頭を飾ります。

②F. メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 Op.64

三大ヴァイオリン協奏曲のひとつに数えられる、珠玉のコンチェルト。全楽章が切れ目なく続く構成が特徴です。冒頭からソロが歌い出す劇的な1楽章、繊細な2楽章、軽妙で華やかな3楽章で、篠崎先生の多様な技術と京大オケの豊かな音楽性を余すことなく堪能できます。

③S. ラフマニノフ 交響曲第2番 ホ短調 Op.27

交響曲第1番の失敗を乗り越え、再び作曲家として立ち上がったラフマニノフの希望の燈。低弦から始まる静かな序奏の動機が姿を変えながら全曲を貫きます。特に有名な3楽章では、クラリネットの独奏が天上の歌のように響き、弦の広がりとともに会場全体を包み込みます。終楽章では、これまでの旋律がすべて回帰し、圧倒的な高揚感へと導かれます。約1時間の中で繰り返し現れる旋律を田中氏とともにどのように歌い上げるのかご注目ください。

【演奏会概要】

～公演名～

京都大学交響楽団 第218回定期演奏会

～日時・場所～

大阪公演：2025年1月15日（木）ザ・シンフォニーホール

京都公演：2025年1月17日（土）京都コンサートホール 大ホール

両公演 18 時開場・19 時開演

ライブ配信（アーカイブ付き）19 時開演

※配信は京都公演のみ。1月19日（月）23:59まで視聴可能。

～客演指揮～

田中祐子

～ヴァイオリン独奏～

篠崎史紀★

～曲目～

F. リスト 交響詩「レ・プレリュード」S.97

F. メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 Op.64★

S. ラフマニノフ 交響曲第2番 ホ短調 Op.27

～チケット価格～

・会場チケット（全席指定制）

S 席 2,000 円

A 席 1,500 円

・配信チケット

1,000 円

・チケット購入はこちらから（2025年10月26日販売開始）

大阪公演：<https://teket.jp/4120/55362>京都公演：<https://teket.jp/4120/55368>配信：<https://eplus.jp/sf/detail/4401080001-P0030001>

※プレイガイドでの販売もございます。詳しくは当団HPをご覧ください。

～後援～

未定

～助成～

スポーツ安全協会助成金(採択済み)

Giving Campaign(予定)

【主催団体概要】

名称: 京都大学交響楽団

概要: 京都大学の学生を中心に、京都市内外の学生約 200 名が集う学生オーケストラ。今年で設立から109年を数える。常に音楽に対して真剣に取り組み、より良い音楽を届けることを目的とし、緻密ながらも学生ならではの情熱のこもった音楽を目指して日々活動している。年2回の定期演奏会のほか、他大学の学生オーケストラ団体との合同演奏会なども行っている。

設立: 1916 年 12 月

所在地: 京都市左京区吉田本町

TEL: 080-3032-4580

Email: kyodaioke.sden@gmail.com

公式HP: <http://kyodaioke.com/>

【特集記事のご案内】

「戦争から見る京大オケの音楽」

京都大学交響楽団は戦争中も年2回の定期演奏会を含む活動を続け、終戦後は他の大学オーケストラに先駆けて演奏会を開催しました。今年2025年は戦後80年を迎えますが、今も昔も変わらない音楽への熱い思いを感じていただけます。

http://kyodaioke.com/features/2015_8_3/index.php

お問い合わせ先

京都大学交響楽団 広報局 情報掲載依頼係

TEL: 080-1480-4755

Email: kyodaioke.press@gmail.com



(画像3 京大オケのアイコン)